

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者の評価結果について（平成 28 年度中間）

1 地域活動協議会の現在の状況についての分析

評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」についての分析
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」についての分析
- (3) 「Ⅲ 組織運営」についての分析

評価	左記の理由
A	(1)～(3)の全項目について、地活協の現状・課題を適切に分析していると評価できる。 また、その現状・課題を分析したうえで、今後、取組を強化すべきポイントも挙げられている。 地活協の現状・課題、今後、取組を強化すべきポイントを適切に分析できしており、本市の求める水準以上の効果が得られたと評価できる。

2 事業の実施内容（支援策（取組）の内容）

評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の提案内容
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の提案内容
- (3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の提案内容

評価	左記の理由
B	(1) 井戸端会議やグループワークの開催を全地域で開催できるよう支援していた ただき、地域課題の洗い出しが進み取組へとつながるよう支援を実施されたい。 (2) 地域間での交流や情報交換を促進するとともに、実施事業に幅広い世代が 参加できるよう支援を期待したい。 (3) 日常的な会計事務等の自律を促すとともに、情報発信にかかる支援、定期的 な会議の開催など開かれた組織となるよう支援されたい。 (4) 防災の取り組みにかかる支援については、近隣地域と合同した訓練の実 施・区内一斉防災訓練の実施に向けて地域支援されたい。 自律的な運営にむけ、おおむね本市の求める水準どおりの効果が期待でき る提案内容であると評価できる。

3 事業の実施体制等

評価項目

(1)自由提案による地域支援の提案内容

(2-1)スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる提案内容

(2-2)フォロー（バックアップ）体制等にかかる提案内容

(3)区のマネジメントに対応した取組にかかる提案内容

評価	左記の理由
A	(1)プロボノを活用しての地域課題解決については、企業のノウハウを地域活動に取り入れる手法としては有効である。コミュニティアンケート調査については、対象が1000世帯と多く、結果が今後の事業に活用されるよう期待したい。 (2-1) 地域からの相談や問い合わせに適切に対応できており、体制に問題ない。 (2-2) 新規事業等で増員が必要な場合も、適切に対応できている。地域からの問い合わせも、常に対応できるよう連携がされている。 (3) 区のマネジメントに対応した提案として、適切な事業提案ができています。 事業を実施するうえで適切な体制が整えられ、区のマネジメントにも沿った事業を提案しており、本市の求める水準以上の効果が期待できる提案内容であると評価できる。

4 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）（5つ以内）

評価項目

区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）

評価	左記の理由
B	(1) 担い手の確保・育成 担い手の確保・育成については、地域運営を継続していくうえで急務の課題であり、重点的に取り組む課題として適当である。今後は、地縁団体のみならず、企業・NPOやボランティア団体など多様な活動団体が連携することによって、地域経営の担い手となる新たな人材が発掘されるよう期待する。 (2) 防災力の向上 本区の独自取組として【防災力の強化】を掲げており、重点的に取り組む課題として適当である。その中にある、近隣地域と合同した訓練の実施・区内一斉防災訓練の実施に向けても尽力いただきたい。 (3) 広報の強化 本区の独自取組として【広報の強化】を掲げており、重点的に取り組む課題として適当である。地域活動協議会の認知度向上に向けては、区がモニターアンケートで設定する目標値が達成できるよう種々の広報活動が効果的に活用されるよう期待する。

	それぞれの課題に対し、有効な支援策を提案しており、概ね本市の求める水準以上の効果が期待できる支援策であると評価できる。
--	---

5 現時点での支援策（取組）の実施状況に対する区の評価及び意見

評価項目

(1) 現時点での支援の実施状況

(2) 上記を受けた、年度後半の支援についての考え方

評価	左記の理由
B	(1) 地域活動協議会役員からの信頼関係の中で、概ね順調に進捗していると考ええる。 ファシリテーションの手法やプロボノの活用によって、各団体の持つ課題について共有し新たな担い手の確保につながったことは評価できる。 受託者が蓄積する多方面とのネットワークによって、地域活動協議会の事業拡大につながったことは評価できる。 訓練の実施が遅れていた地域について、行政と連携し実施に至った事は評価できる。 他区の先進事例見学会については、地域防災担当の意識の向上とスキルの向上に向けては有効であった。 広報紙の発行については、PC スキルを持つ担当者がいないといった地域課題に対して適切な支援が出来ている事は評価できる。今後は定期的な発行に向けての支援を期待したい。 まちづくりセンターの広報活動については、新たな広報ツールを模索しながら、効果的に広報活動ができています事は高く評価できる。 (2) 地域活動の担い手の高齢化に対して、次世代に引き継いでいく事は急務の課題である。その中で、開催が予定されている井戸端会議「コノハナのハナシ」は、地域活動協議会以外で活動する団体等とのネットワーク拡充を図るとりくみとして期待したい。また、事務勉強会の開催・先進事例の見学会など、引き続きあらゆる方面から模索し、担い手となる人材の確保ができるよう支援されたい。 隣接する地域との合同訓練などあらゆる可能性を想定した訓練が実施できるよう支援されたい。また、防災関連データの見える化については作成をお願いしたい。 地域活動協議会の存在・活動の認知度向上に向けて取組を進められたい。また、此花区民の無作為 1000 世帯へのコミュニティアンケート調査結果については、地域の次年度以降の取組にフィードバックしていただきたい。 各事業は適切に進んでおり、年度後半の支援についても実施に向けた取り組みを進められており、おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた

	と評価できる。
--	---------

6 総合評価

評価	左記の理由
B	・地域団体からの評価も高く、信頼関係が構築されている。 ・地域課題への取組については、ラウンドテーブル・井戸端会議の実施やプロボノの活用など様々な手法によって課題解決を図ろうとする姿勢が見られる。 ・「担い手確保・育成」については、アンケート調査結果等をもとに分析を行い、地域実情に沿った形で支援ができるよう実施されたい。

(評価基準)

S：本市の求める水準を大幅に上回る効果が得られた

A：本市の求める水準以上の効果が得られた

B：おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた

C：本市の求める水準の効果が得られていない